

## 精神神経医学・臨床倫理学講座

### スタッフ

教授 鈴木健文 連絡先：takefumi@oak.dti.ne.jp  
准教授 布村明彦 連絡先：anunomura@yamanashi.ac.jp  
講師 石黒浩毅 連絡先：hishiguro@yamanashi.ac.jp  
ホームページ：<http://www.med.yamanashi.ac.jp/clinical/psychiat/>

精神神経医学・臨床倫理学講座では、精神・こころを形成する「脳」の働きについて、臨床研究とともに、生化学や動物薬理行動学など分子生物学的な手法を用いた基礎医学的研究も行っています。こころの表現型や精神疾患に関わる脳のメカニズムは、次々に明らかになってはいますが、現在マスコミに垂れ流されている脳科学？には国民受けしやすいため未検証の情報が多々含まれています。皆様には真摯に生命に向き合える人材へ育てていただきたいと思います。

### 研究室の主なテーマ

#### <臨床研究>

1. 治療抵抗性精神障害の治療経過と脳機能画像所見の検証 電気けいれん療法（ECT）
2. 周産期の服薬が新生児心機能へ及ぼす影響の解析
3. 産後うつと児童の発達

#### <基礎研究>

1. 精神障害の病態関連遺伝子の同定と、その遺伝子機能の精神表現型への影響の解明  
☆ 統合失調症、感情障害などの精神疾患のゲノム研究、遺伝子改変マウスを用いた薬理行動解析・脳組織学的解析。国内外の大学・研究所との共同研究です。
2. 脳の老化と加齢関連性神経変性疾患の神経病理学的研究（酸化ストレスと老化・神経変性との関連性の検討）  
☆ アルツハイマー病脳における RNA の酸化傷害に関する研究は、国際的にも originality の高い研究として評価されています。
3. 高齢者うつ病における軽度認知障害に関する研究（脳画像、バイオマーカー、および認知機能検査所見の検討）
4. 産後うつのバイオマーカー探索

臨床研究については高学年になりベッドサイド研修の資格が得られるまでは匿名化された医学情報を解析するなど限定されることになると思います。皆さんは将来、精神科医療に少なからず関わることになり、その時にまず精神を科学的・生物学的に理解していることが役に立ちます。将来研究を行う上で必要な基本的な知識と実験技術も習得できるようにします。こころに興味を持ち、一緒に楽しく研究したい学生さんを募集します。